

(令和4年度 全国大学附属農場協議会春季全国協議会資料 報告事項 抜粋)

令和4年度「全国大学農場技術賞」選考経過報告書 令和4年2月14日の全国大学農場技術賞選考委員会において、令和4年度「全国大学農場 技術賞」授賞候補者の選考を実施した。審議の結果、下記の被推薦者3名を同賞に相応しいものとして認め、同賞授賞候補者として決定した。

令和4年度「全国大学農場技術賞」授賞候補者（「大学農場年報」整理番号順）

3) 野村 哲也 (のむら てつや) 所属：鹿児島大学農学部附属農場 業績名：暖地における遺伝資源植物を活用した栽培技術構築と教育・研究への貢献 業績要約：長年にわたり熱帯・亜熱帯植物の栽培・維持に取り組み、実習教育や研究への利用、栽培技術の改善に取り組んできたことは高く評価できる。とくに、ヤマドリヤシの省力化栽培やベニゲンペイカズラの草姿安定性や開花促進技術の確立、また、暖地の特性を活かしたトルコギキョウの冬季無加温促成切り花栽培技術の確立などにおいても中心的役割を担ってきた。また、シロサポテ、アセロラなどについても新規導入果樹として積極・24・的に調査・導入を実施した結果、現在の実習材料としても活用されている。これらの結果は、学内だけでなくJICAの技術協力プロジェクトや市民講座などでも実技指導や研修指導という形で発揮されている。これら長年にわたる栽培体系構築に関する一連の成果は、技術賞に相応しいものと判断できる。

大学農場技術賞選考委員：三石 誠司（委員長・副会長）、山田 敏彦（北海道・東北地域幹事）、本林 隆（関東・甲信越 地域幹事）、神戸 敏成（東海・近畿地域幹事）、片岡 圭子（中国・四国地域幹事）、尾崎 行生（九州地域幹事） 技術賞担当幹事：平田 統一

以上